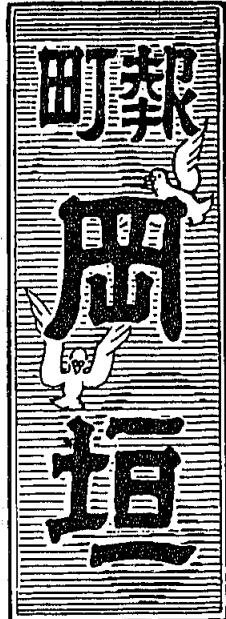


環境に恵まれた山田高陽団地

西高陽区 田中睦生氏 提供

所役者 堺 荘
行町任辻 岡垣町長

オアシス運動

「人」という字は、二人の人が寄りかかり合つて出来ている。「人間」とは人と人の間、——人間

関係がうまくいかなければ人間としての生活が全うされない。人間は生れながらにして「人間関係」が存在である。世の中を渡るには人間関係が一番大切である。

人は一人では生きられない。
お互い助けつ助けられつして生きている。誰かと何らかのかかわりをもちながら、毎日毎日悩んだり喜んだり、泣いたり笑つたりして生活している。

人は間違つて生活することが一番大切である。

その人間関係をつくる最初のものは接觸である。人間関係をよくするには話し合い、お互いがお互いをよく知らねばならないが、挨拶なしに話し合いをすることは出来ない。

「明るい町づくりのために」

同和教育

おはようございます
ありがとうございました
しつれいしました
すみません
この接觸をすることによって人間の心はどれ程なるものか体験するとうすぐわかる。
海老津駅には開札口の真上に、

明治維新で日本は、封建国家から近代国家の仲間入りをし、封建的身分は大筋としてなくなりました。明治四年の解放令で四民平等ということになり、身分は平民となりました。一方、皇族、華族、士族、平民といった新しい身分も生みました。たてまえとしては、なくなつたのに現実には残りました。これを半封建的身分、または封建的身分過制とよんでいます。

「岡垣町のオアシス運動、お疲れさまでした」と書いた看板が掲げ

岡垣郵便局には「あいさつでつなぐ人の和、職場の和」と印刷され

九州郵政局のポスターが張られている。

これまで原稿を書いて家に帰つたら、毎日新聞に松田道雄先生の「やさしさ」と題した隨筆が載っていた。一部そのまま写す。

「いまの世界で、人へのやさしさほど大切なのはないとと思うが、

岡垣町青少年問題協議会が「家庭の日」や「接觸運動」をとり上げている意味を十分認識し、全家庭全住民がとり組んでいただきたい。岡垣町青少年問題協議会

やさしさの失われたのは、人間はなんでもできるという高ぶつた気持にとらわれているからだろう。たしかに京都から東京に日帰りができる、太平洋を数時間でとびこえられるようになつたのだから、人間の知恵はたいしたものだ。

だが、それだけの知恵があるながら、まだ大國同士が、軍備をひろげ、場合によつては核戦争になりかねない悪行をとどめられない。知恵では解決できないことだ。そうなれば心をやさしくするほかはない。心にうつたえる仕事をしている宗教家や芸術家が、どうしてこの課題を自分の課題としないのか」と。

岡垣町青少年問題協議会が「部落問題にとつて一定の意義はありました。一方、皇族、華族、士族、平民といった新しい身分も生まれました。たてまえとしては、なくなつたのに現実には残りました。これを半封建的身分、または封建的身分過制とよんでいます。

明治政府は、實質的には差別と貧困から解放するための政策は何も行わなかったのです。ですから明治維新後の社会においても、差別の実態はほとんど変化がなく、封建時代よりもむしろ悪い状態のもとに絶望的な生活を続けることになり大きな社会問題となりました。部落差別をつくったのは徳川幕府でありますが、根本的に解決せず今日まで残してきましたのは、維新後の政府の責任であります。

解放令の出した翌年四民平等という掛け声のうらでわが国最初の戸籍である「壬生戸戸籍」がつくられました。それには廃止されたはずの身分が書き込まれていました。このことから考えても解放されたらずの身分制度が意図的に残されて生活の中に具体的に生きていることがわかります。政府は明治八年武士の解散にあたって生糞資金として当時の国家予算の三倍から四倍に相当する金額を支出しました。一方部落の人々には一銭の金も出しておりません。若し明治政府がこれの逆のかたちで部落の人々の生活を保障していたら、おそらく今日のような形での差別はなくなっていたと思います。そして部落を解放しないでおくことによって農村では「土地なき農民」として高い小作料を維持するおもしの役割を背負わせ、都市においては、「職場なき労働者」としてどんなひどい労働条件で働くを得ない最低労働条件として働いている人達全体の労働条件を引き下げる役割をさせられました。

そのため部落の人々は、社外工、臨時工、季節工、日稼などとよばれる無権利、低賃金による不安定労働者、いわゆる潜在的失業者のたまり場として、再編成されています。いまと昔はちがう？

年末年始の

交通安全運動

在の世の中に昔の、ような差別はもうない」とか、「差別差別といふから差別はのこので、ほつておいた子を起すな」という意見もあります。

たしかに今日も明治、大正時代と同じ差別が行なわれているとは考ません。昔のよくな地主、小作という半封建的な生産関係はなくなり、戦前の日本と戦後の日本はこの点でも大きく変わりました。

そして同和対策事業特別措置法が施行された昭和四十四年以降は更に変わりました。

いいかえると、部落差別の特徴であった、身分・職業・住居の三位一体性というものが、消えはじめたのです。

結婚の問題でも、戦前では部落の人と部落外の人との結婚は珍らしくらいでした。現在では、普

通のことになっています。だが結婚にまつわる差別が完全になくなつたわけではありません。本人同志は問題していないのに親や周囲が反対する場合があります。

こうしてみると、若い人たちの間には、古い身分觀念にとらわれない、自由な人権意識がはつきり育っています。結婚差別という深刻な問題も、若い力によって、今は大きく破られようとしています。

道交法改正

酒酔い運転、即取消し

暴走族一掃に全力

道路交通法が一部改正され12月1日から施行され、運転者の義務等に關する改正の概要は次の様になります。

自転車に乗車する者は、誰でもすべての道路で、ヘルメットをかぶらないで運転できない。又原動機付自転車（バイク）の運転者は、ヘルメットをかぶるように努めなければならない。

（一）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（二）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（三）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（四）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（五）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（六）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（七）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（八）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（九）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（十）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（十一）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（十二）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（十三）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（十四）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（十五）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（十六）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（十七）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（十八）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（十九）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（二十）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（二十一）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（二十二）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（二十三）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（二十四）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（二十五）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（二十六）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（二十七）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（二十八）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（二十九）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（三十）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（三十一）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（三十二）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（三十三）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15点（12点）

麻薬等運転 9点（なし）

無車検無保険運転 6点（なし）

（三十四）内現行点数

無車原車 2点（なし）

青空駐車 1点（なし）

酒酔い運転 15

につとめております。

これは、「お互いが気軽に言葉を交わし合うことによって心の通いが得られ、それによって明るく住みよい社会がつくられることを願つたものであり、また、現在最も重要な人権問題である同和問題は、すべての人がこの問題を正しく理解し、一層認識を深めて、自分自身の問題として考え、差別の心をなくすために積極的に努力する必要がある。更に、私達の周囲に残っている男女間の差別的なならしわをあらため、眞に男女が平等であるようには一度みんなで考えてみよう」という趣旨でそれぞれ定めたものであります。

皆さんの御理解と御協力をお願ひします。

ところで皆さん自身のまわりで無理を強いられたり、村八分にされたり、老人や心身に障害のある方等で虐待されている方はありますか。もし、そのような方があるときは、地元の人権擁護委員や法務局(支局)へお申出下さい。

なお、そのほか人権問題や法律問題その他いろんな悩みごとのある方はいつでもお気軽に相談下さい。相談は無料で秘密は堅く守られています。

なお当町の無料人権相談日は、二月八日前二〇時から一五時まで東部公民館で行ないます。

当町の人権擁護委員は次のとおりです。

です。

竹石園市 戸切二二一番地

TEL 二二〇一七〇

加藤重雄 三吉八二〇番地

TEL 一一六七八〇

損したため、その復旧の間、児童の保育ができない場合

手つづきはすみやかに

水道の中止、廃止等の

保育所入所受付

昭和五十四年度保育所入所受付を行います。

決定を行います。

最近人口が増加しておりますが、転入、転出、町内移動等が多くな課に届出をして下さい。

つております。移動の際には次の

(一) 入所申込先

イ、継続入所の場合は各保育所

ロ、新規入所の場合は岡垣保育所

又は役場民生課

(二) 入所人員百六十名(岡垣保育所百名 中部保育所六十名)

ハ、源泉徴収票、又は勤務証明

(三) 提出書類

イ、保育所入所申請書

(四) 受付期間

十一月四日から十一月十四日まで。但し受付の児童のみで、その後の入所については、年中受付しています。

(五) 児童の年令

一年二ヶ月以上から就学前の児童まで。

(六) 保育所に入所できる児童は国

措置基準によつて決められています。

ます。主旨を充分御理解の上、申請書を提出下さい。尚所申

請用紙は民生課、各保育所においてあります。申請書提出の際は必ず保護者が持参して下さい。

家庭調査、身体検査の上入所の

1. 家庭外の労働

児童の母親が、昼間家庭の外で仕事することが常で、児童の保育ができない場合。

2. 家庭内の労働

児童の母親が、昼間家庭で、児童と離れて、日常の家事以外の仕事をすることが常で、児童の保育ができない場合。

3. 母親のいない家庭

母親の死亡、行方不明、拘禁などの理由により、母親がいない場合。

4. 母親の出産、病氣等。

母親が出産の前後又は病氣等であつて児童の保育ができない場合。

5. 病人の看護等

その児童の家庭内に長期にわたる病人や、心身に障害のある人

がいるため、母親がいつもその養護にあたるため、児童の保育

ができない場合。

6. 家庭の災害

火災、風水害、地震等の不幸があり、その家屋を失つたり、破

届書名	内容
中止届	一時的に給水を停止する場合
廃止届	給水装置を撤去する場合
再開始届	新たに人居する場合(新築の家は除く)
名義変更届	届出名義に変更があつた場合

十月末における町水道の現状をお知らせいたします。

以上の届出の際印鑑を必ず持参下さい。

1、行政区分帯数
六、六三九戸

2、人口
一三二、三五八〇人

3、給水戸数
五、九一五戸

4、給水人口
一二一、五八九人

5、月間配水量
一四一、六七五m³

6、一日最大給水量
五、四六七m³

7、一人一日最大給水量
一五三l

8、有収率
八五%

有収率とは、これは給水量ではなく、はち皆さんの家庭に送った水のメーターにあがつて来た合計が八五〇m³であったとすれば有収率は八五〇%という事です。現在全国平均の有収率は上水道で七五%となつて

おります。

議会だより

開と決定し、議案二件が上程され
た。

会議結果は次のとおり

▽議案第五十一号（原案可決）
昭和五十三年六月に支給する期
の均衡を保つ必要があるため。

△議案第五十二号（原案可決）
未手当の額の特例に関する条例

諸物価の上昇並びに、近隣町と
の均衡を保つ必要があるため。

△議案第五十三号（原案可決）
契約の目的

岡垣町道路工事作成委託契約締
結について。

△議案第五十四号（原案可決）
契約の相手方

三四八〇〇〇〇円

福岡市博多区博多駅東二丁目
国際航業株式会社福岡支店

△議案第五十五号（原案可決）
証人等の実費弁償に関する条例

氏名 岸島保 武

△議案第五十六号（原案可決）
歳入歳出の総額にそれぞれ八〇
五千円を追加し、歳入歳出予算
の総額を「五三二二千円とする。

△議案第六十号（原案可決）
昭和五十三年度岡垣町住宅新築
資金等貸付事業特別会計補正予
算 第一号

歳入歳出の総額にそれぞれ八〇
五千円を追加し、歳入歳出予算
の総額を「五三二二千円とする。

△議案第六十一号（原案可決）
昭和五十三年度岡垣町水道事業
特別会計決算認定について。

△議案第六十二号（原案可決）
町有財産（土地）の交換につい
て。

△議案第六十三号（原案可決）
百条調査権限の付与について
世々町に関する調査専別委員会
が先の定例会において議決されて
いる。

△議案第六十四号（原案可決）
農業災害補償法の一部改正に伴
ない。条例改正の必要が生じたた
く。

△議案第六十五号（原案可決）
金の設置、管理及び処分に関する
一部を改正する条例。

△議案第六十六号（原案可決）
朝鮮の自主的平和統一の促進に
関する意見書の提出について。

△議案第六十七号（原案可決）
戸切龍王公堂住宅建築事業
第一種 六戸

△議案第六十八号（原案可決）
第二種 四戸

△議案第六十九号（原案可決）
八幡西区大字折尾一一三四一
町立屋外運動場施設工事（体育
施設）

△議案第七十号（原案可決）
八幡西区大字折尾一一三四一
町立屋外運動場施設工事（体育
施設）

△議案第七十一号（原案可決）
元号法制化のため、意見書提出
団体等に対し照会をし、又は記録
の送付を求める権限を本特別委員

○八七九千円を追加し、歳入歳出
予算の総額を「八一〇七三三千円
とする。」

△議案第五十九号（原案可決）
昭和五十三年度岡垣町農業共済
事業特別会計補正予算 第二号

歳入歳出の総額にそれぞれ二二
六四千円を追加し、歳入歳出予算
の総額を「六八〇五千円とする。

△議案第六十号（原案可決）
昭和五十三年度岡垣町住宅新築
資金等貸付事業特別会計補正予
算 第二号

歳入歳出の総額にそれぞれ八〇
五千円を追加し、歳入歳出予算
の総額を「五三二二千円とする。

△議案第六十三号（原案可決）
岡垣町公堂住宅建築事業請負契
約について（工区）

一、契約の目的 戸切龍王公堂住宅建築事業

第二種 四戸

二、契約金額 東洋建設株式会社

三、契約の相手方 八幡西区前松子自六十一

四、工期 至 昭和五十三年十月十一日

△議案第六十六号（原案可決）
中間市大字中鶴七四六〇一二

一、契約の目的 町立屋外運動場施設工事（照明
施設）

二、契約金額 東洋建設株式会社

三、契約の相手方 安川設備技術株式会社

四、工期 至 昭和五十三年三月十日

△議案第六十七号（原案可決）
山藤建設株式会社

一、契約の目的 町立屋外運動場施設工事（照明
施設）

二、契約金額 東洋建設株式会社

三、契約の相手方 安川設備技術株式会社

四、工期 至 昭和五十三年十月十一日

△議案第六十八号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第六十九号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第七十号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第七十一号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第七十二号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第七十三号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第七十四号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第七十五号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第七十六号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第七十七号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第七十八号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第七十九号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第八十号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第八十一号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第八十二号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第八十三号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第八十四号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第八十五号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第八十六号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第八十七号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第八十八号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第八十九号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第九十号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第九十一号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第九十二号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第九十三号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第九十四号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第九十五号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第九十六号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第九十七号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第九十八号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第九十九号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百一号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百二号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百三号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百四号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百五号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百六号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百七号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百八号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百九号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百十号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百十一号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百十二号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百十三号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百十四号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百十五号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百十六号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百十七号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百十八号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百十九号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百二十号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百二十一号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百二十二号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百二十三号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百二十四号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百二十五号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百二十六号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百二十七号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百二十八号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百二十九号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百三十号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百三十一号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百三十二号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百三十三号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百三十四号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百三十五号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百三十六号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百三十七号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百三十八号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百三十九号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百四十号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百四十一号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百四十二号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百四十三号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百四十四号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百四十五号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百四十六号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百四十七号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百四十八号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百四十九号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百五十号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百五十一号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百五十二号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百五十三号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百五十四号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百五十五号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百五十六号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百五十七号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百五十八号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百五十九号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百六十号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百六十一号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百六十二号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百六十三号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百六十四号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百六十五号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百六十六号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百六十七号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百六十八号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百六十九号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百七十号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百七十一号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百七十二号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百七十三号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百七十四号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百七十五号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百七十六号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百七十七号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百七十八号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百七十九号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百八十号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百八十一号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百八十二号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百八十三号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百八十四号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百八十五号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百八十六号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百八十七号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百八十八号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百八十九号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百九十号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百九十一号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百九十二号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百九十三号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百九十四号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百九十五号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百九十六号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百九十七号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百九十八号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第一百九十九号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第二百号（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第二百一號（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

△議案第二百二號（原案可決）
至 昭和五十四年一月二十日

わずかの料金で、グンと早く届きます。

「うさぎ」利用をお奨めします。

◎外国郵便物をお差し出しがあるときは別配達制度があります。

◎別配達制度は、内国郵便物の速達便とほぼ同一の取扱です。

料金は通常郵便物は一五〇円、

小包郵便物は三三〇円です。

別配達を取り扱わない国もありますので詳しいことは郵便局へお尋ね下さい。

◎小包郵便物をお差し出しがあるときは小包郵便物と同時に届く、小包はがき制度があります。

荷札の替りにもなり非常に便利です。

どうぞご利用をお奨めします。

◎郵便物を出してから、あて名の変更や取りもどしの必要を生じたときは、なるべく早く郵便物を出した郵便局又は出したポストの取集めを受け持つ郵便局へお尋ね下さい。

その郵便物が先方に配達される前であれば、あて名の変更や取り戻しを請求することができます。

なおこれらの請求には手数料が必要です。

詳しいことは郵便局へお尋ね下さい。

◎外国郵便物で航空簡便制度があります。

万国との国あても同一料金で

差し出せます。

航空書簡は他のものを封入できません。売価は一枚一四〇円で

す。詳しいことは郵便局へお尋ね下さい。

簡易保険から

◎ボーナスで保険料の前納払込み

を。

簡易保険の保険料の払込みは、財形貯蓄保険以外はすべて月掛となりますが、前もって何ヶ月

前納割引の一例(月額保険料一〇,〇〇〇円の場合)

払込月数	割引前の保険料	割引額
三ヶ月	三〇〇〇円	1,000円(保険料の1/10ヶ月分)
六ヶ月	六〇〇〇円	5,000円(1/2ヶ月分)
一年	110,000円	10,000円(1ヶ月分)
三ヶ月	三六〇,000円	120,000円(3ヶ月分)

この保険料の前納払込制度は、大変お得になっていますので、12ヶ月のように、ボーナスなどまとま

用されるほどをお奨めします。

岡垣郵便局

分かの保険料をまとめて払い込んでいただくことができます。この場合、三ヶ月分以上をまとめて払い込んでいただきますと、次の例

なっていますが、前もって何ヶ月のような割引を行っています。

前納割引の一例(月額保険料一〇,〇〇〇円の場合)

払込月数	割引前の保険料	割引額
三ヶ月	三〇〇〇円	1,000円(保険料の1/10ヶ月分)
六ヶ月	六〇〇〇円	5,000円(1/2ヶ月分)
一年	110,000円	10,000円(1ヶ月分)
三ヶ月	三六〇,000円	120,000円(3ヶ月分)

問一 带下(おりもの)といえは思えないこともあります。

答 おりものは、どんな病気におこるのでしょうか。

答 おりものが多くなる婦人病については、あとでくわしく述べます。今回は病気でなくとも健康な婦人にもおりものがあることを強調したいのです。

問二 では、生理的带下について説明してください。

答 強調したいのです。

問三 では、生理的带下について説明してください。

答 その他の詳しいことは門司海員学校教務課に問い合わせください。

問四 家庭内で洗浄の器具や月経時のタンポンを使用している人がかなり多いようですが、これはどうでしょうか。

答 そもそも脛内には、デーラルライン氏菌という一種の乳酸菌がおりります。この菌は脣内の汚物を分解するだけではなく、脣外から有害なバクテリアの侵入を防いでくれます。これを脣の自浄作用といいます。特別の病気がなければ、

問五 家庭内での洗浄は避けた方がよいのですね。

答 全くその通りです。特別な病気がないのに洗浄すると脣内の

保安、秩序をあざかるデーターテルライン氏菌を外へ洗い流すことにな

国立門司海員学校

生徒募集中

- ◎募集人員 高等科(修業年限2年)約70名、中等科(修業年限1年)約60名。
- ◎受験資格 (1)年令 昭和54年4月1日現在で15才以上、19才未満
- ◎入試期日 昭和54年2月18日(日)午前8時30分から、午前、筆記試験



田中産婦人科(折尾)

(1)新生児、(2)初潮の前後

(3)妊娠時、(4)閉経時、これららの時にみられるおりものは、体の変調によつておこるもので病的とはいえない。その他、いちばん多くみられるのは、月経前10日頃には誰しも脣の分泌物が多くなるので

これがによって卵巣から排出された卵が子宮内膜に着床しやすくなるのです。

誰しも脣の分泌物が多くなるのでこれが、これによって卵巣から排出された卵が子宮内膜に着床しやすくなるのです。

葉にも表裏があり相談者の話を良く聞くことが大切ならこれをメモし正しい回答をする事も大切な事が解りました。若い人には私と一緒に該当法令を読んでもうつよう心がけています。

世界人権宣言二十周年を迎えた今日、当町内の人権相談の一端として年に四回の人権特設相談所を開設している。困った問題等大小にかかわらず気軽においで下さい。皆さんの話と相手「相談担当者」は法務局及び地元人権擁護委員が当ります。法務局では毎日相談を受けています。地元人権擁護委員は自宅でも電話相談を受けています。

自分の人権を主張するためには相手の人権も尊重して始めて自分の人権が守られ、人権とは私達が長らく忘れていた道徳の延長であると思われる。しかしながら現代社会においては、人口の増加に伴い内容的には「借地、借家、相続、不動産、離婚、家族、金銭貸借、相隣関係」等が目立ち現代の世相を反映している。このように複雑多岐にわたる諸問題が集積している現在、誠に微力ではございますが「対話によって明るく住みよい社会をつくる」ということをめざして、人権の共存を求める心を啓発し少しでも皆さんのお手伝いができるべと念願する次第です。

人権擁護委員
戸切区 竹石 団市



殿本と宮津辺拝殿

◎ 宗像郡大島に鎮座する中津宮には瀬戸姫神をお祭りしており、島の北面に沖津宮遙拝所がある。

◎ 玄海町田島にある辺津宮を普通田島様とよび、市杵島姫神をお祭りしており、古くから三百の総社として祭りがされている。

以上三社を総称して宗像大社といふ。

記紀によると、宗像二社大神は天照大神より「九州の北邊に降つて、皇室を守護し、皇室からも大切にされよ」との神勅をいただいている旨特筆せねばならない。神

殿正面に「神勅 奉助天孫而為天孫所祭」と伏見宮貞愛親王が書かれた額がかかる。

そのため古代から玄海灘の守り神として、大陸との交通の門戸宗像の地に鎮座しておられる。

また昭和二十九年以来三回の沖ノ島学術調査団の調査によると、五世紀（千五百六百年前）のものを主とする祭祀神宝五万余点が発見されている。これは大和朝廷からも深く崇敬されており、大陸文化の影響が大きかったことを物語っている。

平安時代になつて放生会が始まることによつて、須佐之男命の誓約によつて、須佐之男命の十拳劍を種に、天照大神の御子として生れられた三柱の女神を祭つている。

◎ 玄海の孤島・周囲四糠の沖ノ島の沖津宮は田心姫神をお祭りしている。

沖ノ島は島全体が御神体で今でも女人禁制・宗像漁民の間では御不^い言様とよばれ、島のことを口外してはならない捷のある神祕の島。

十月一日になると岡垣からも田島様に詣る人は非常に多い。
古事記、日本書紀等の古典によ

宗像大社



「遠賀男に宗像女」という。

宗像の人は「宗像男に遠賀女」という。一山へだてているの

で昔から郡はちがうが、宗像

島様に詣る人は「宗像男に遠賀女」という。

島様に詣る人は非常に多い。

古事記、日本書紀等の古典によ

平安時代になつて放生会が始まつたと伝えられ、以来連綿として続けられ、「延喜式」（平安時代の法令集）では名神大社とされ、

弘治三年（一五五七）四月十四日本殿が焼失したので、天正六年（一五七八）宗像氏貞が再建したもの。五間社流造、柿葺。

◎ 辺津宮本殿

弘治三年（一五五七）四月十四日本殿が焼失したので、天正六年（一五七八）宗像氏貞が再建したもの。五間社流造、柿葺。

天正十八年（一五九〇）小阜川

幕府や諸大名からも深く崇敬され

ていた。

長畠

平安中期以降は津守制の崩壊に伴い、社領莊園は増大し、宗像神社の神主宗像大宮司は鎌倉御家の列に加わり、神主として神に奉仕するとともに武家の一員となり、元寇に際しては、國家安泰、敵國降伏の祈願をするとともに沿岸防備に奮戦活躍する。

室町末期から戦国時代にはこの附近も争乱にまきこまれたが、宗像大宮司の攻防よろしきを得て近隣に威を張つてゐた。

（田島様）社殿が火災で焼失。宗像大宮司最後の宗像氏貞が天正六年（一五七八）に再建する。

弘治二年（一五五七）辺津宮

（田島様）社殿が火災で焼失。宗像大宮司最後の宗像氏貞が天正六年（一五七八）に再建する。

天正十四年（一五八六）大宮司氏貞は病死し、男の子がなかつたので、上代以来宗像一家の祭政画面をとりしきつた宗像家は断絶する。

その後筑前を治めた小早川隆景は天正十八年（一五九〇）現在の拝殿を再建する。

天正十八年（一五九〇）現在の拝殿を再建する。

明治維新後、明治九年國幣中社に、全十三八年官幣大社に昇格

に、全十三八年官幣中社に、全十三八年官幣大社に昇格

に、全十三八年官幣中社に、全十三八年官幣大社に昇格